

株式会社大気社

決算説明会資料

2023年3月期(2022年度)

2023年5月18日

目次

INDEX

1. 連結業績の概要	社長:長田 雅士	P.03
2. セグメント別業績の概要	管理本部長:中島 靖	P.09
3. 連結財務諸表		P.23
4. 中期経営計画の進捗 (2022年度～2024年度)	経営企画本部長:中川 正徳	P.27
5. 株主還元		P.39
6. Appendix		P.42

目次

INDEX

1. 連結業績の概要	社長:長田 雅士	P.03
2. セグメント別業績の概要		P.09
3. 連結財務諸表		P.23
4. 中期経営計画の進捗 (2022年度～2024年度)		P.27
5. 株主還元		P.39
6. Appendix		P.42

受注工事高は過去最高、全ての項目で増収増益を達成

市場環境(国内)

電子部品や医薬品などのメーカーによる投資が好調であり、首都圏におけるオフィスビルの建設需要や自動車メーカーによる投資も堅調に推移した。

市場環境(海外)

新型コロナウイルス感染症や資源価格の高騰などの影響による不透明感があったものの、各メーカーによる設備投資は回復傾向が続いた。

受注工事高

2,886億円

〔前期比 +24.4%〕

完成工事高

2,147億円

〔前期比 +2.6%〕

経常利益

130億円

〔前期比 +20.2%〕

親会社株主に帰属する
当期純利益

79億円

〔前期比 +9.2%〕

受注工事高・完成工事高・経常利益において、予想を上回る

(億円)	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	前期比 増減	2023年3月期 予想	予想比 差異
受注工事高	2,321	2,886	565	2,830※	56
完成工事高	2,092	2,147	55	2,125	22
経常利益	108	130	21	120	10
経常利益率	5.2%	6.1%	0.9pt	5.6%	0.4pt
親会社株主に帰属する当期純利益	72	79	6	86	-6
当期純利益率	3.5%	3.7%	0.2pt	4.0%	-0.4pt
ROE	5.9%	6.3%	0.4pt	6.8%	-0.5pt
EPS	212.69円	234.62円	21.93円	-	-

※ 第3四半期決算時に修正

■ 主要拠点の為替レート

(円)	① 2022年3月期通期	② 2023年3月期通期
USドル	109.86	130.78
タイバーツ	3.44	3.73
人民元	17.03	19.39
インドルピー	1.52	1.68

■ 為替影響額

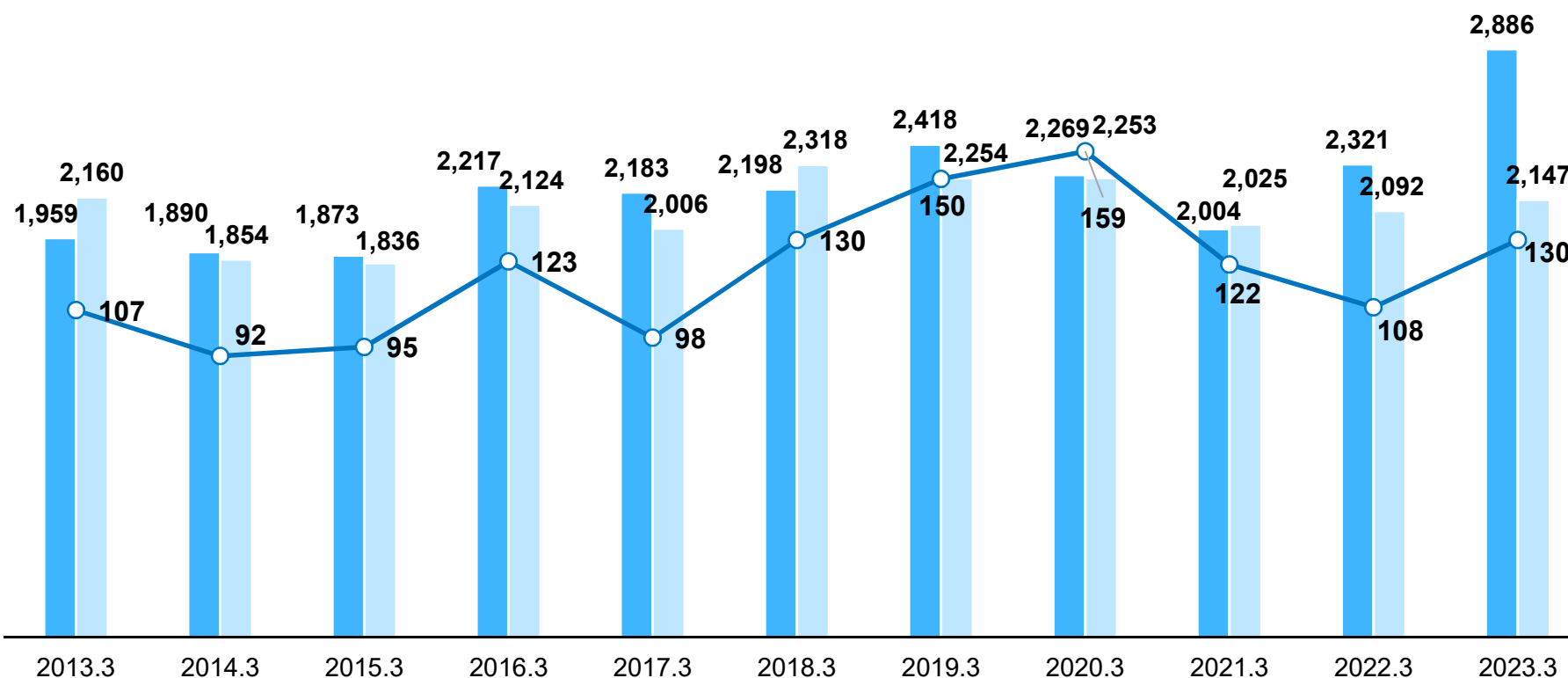
①と②の為替差による影響
完成工事高:82億円／経常利益:3億円

受注工事高は過去最高、完成工事高・経常利益は堅調に推移

■ 受注工事高・完成工事高・経常利益 推移

(億円)

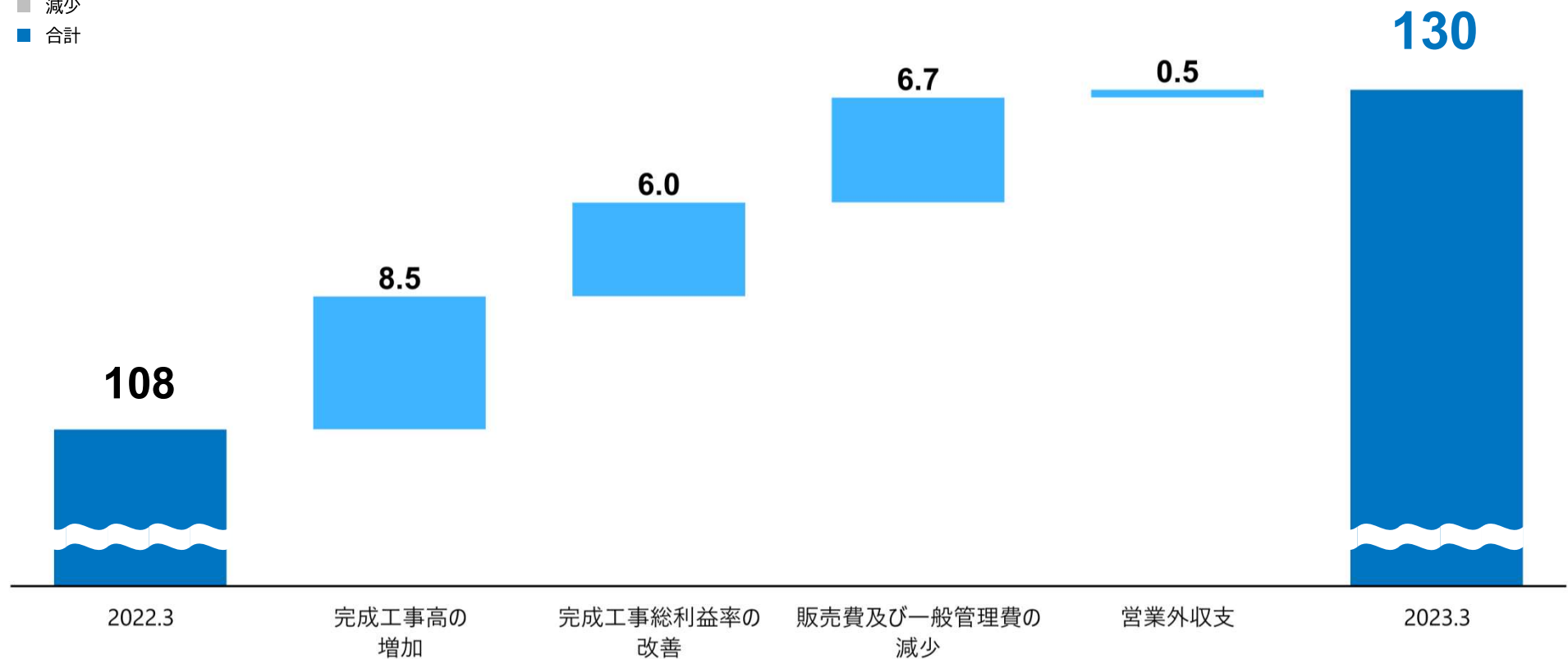
- 受注工事高
- 完成工事高
- 経常利益



主に完成工事高増と利益率改善により前期比で増加

■ 経常利益の主な増減要因(前期比)

(億円) ■ 増加
■ 減少
■ 合計



手持ち工事量の大幅な増加に伴う受注量の調整により、受注は減少するものの、増収増益を見込む

通期業績予想

(億円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	前期比 増減
受注工事高	2,886	2,180	-706
完成工事高	2,147	2,550	402
営業利益	115	131	15
経常利益	130	140	9
親会社株主に帰属する当期純利益	79	93	13
ROE	6.3%	7.3%	1.0pt

主要拠点の為替レート

(円)	2023年3月期決算	2024年3月期想定
USドル	130.78	128.00
タイバーツ	3.73	3.85
人民元	19.39	18.80
インドルピー	1.68	1.57

為替変動による影響額

2024年3月期業績予想において、
全為替レートが1%変動した場合の影響額
完成工事高:12億円／経常利益:0.6億円

目次

INDEX

1. 連結業績の概要	P.03
2. セグメント別業績の概要	管理本部長:中島 靖 P.09
3. 連結財務諸表	P.23
4. 中期経営計画の進捗 (2022年度～2024年度)	P.27
5. 株主還元	P.39
6. Appendix	P.42

環境システム事業、塗装システム事業ともに前期比で増加

	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	前期比 増減	2023年3月期 予想※	予想比 差異
(億円)					
受注工事高合計	2,321	2,886	565	2,830	56
うち国内	1,434	1,527	92	1,511	16
うち海外	886	1,359	473	1,319	40
環境システム事業	1,589	2,080	491	2,050	30
ビル空調	433	361	-71	352	9
産業空調	1,155	1,718	563	1,698	20
塗装システム事業	732	805	73	780	25

※ 第3四半期決算時に修正

産業空調分野がけん引し、前期比で大幅に増加

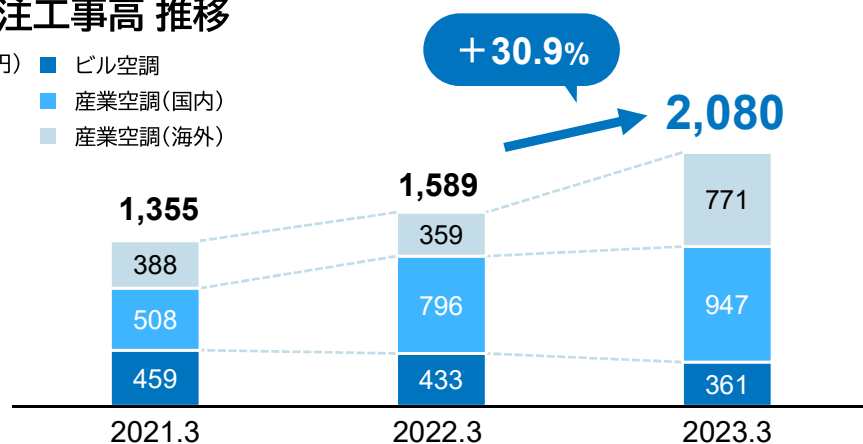
(億円)	2022年3月期実績	2023年3月期実績	前期比増減	2023年3月期予想※	予想比差異
環境システム事業 受注工事高	1,589	2,080	491	2,050	30
ビル空調	433	361	-71	352	9
産業空調	1,155	1,718	563	1,698	20
うち国内	796	947	151	928	19
うち海外	359	771	411	770	1
海外比率	22.6%	37.1%	14.5pt	37.6%	-0.5pt

※ 第3四半期決算時に修正

受注工事高 推移

(億円)

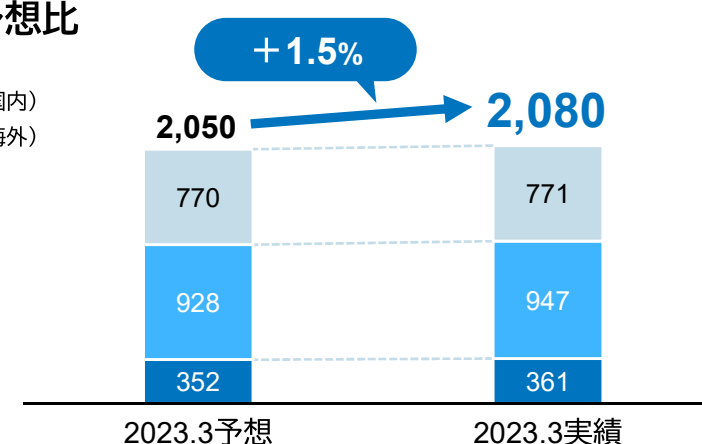
- ビル空調
- 産業空調(国内)
- 産業空調(海外)



受注工事高 予想比

(億円)

- ビル空調
- 産業空調(国内)
- 産業空調(海外)



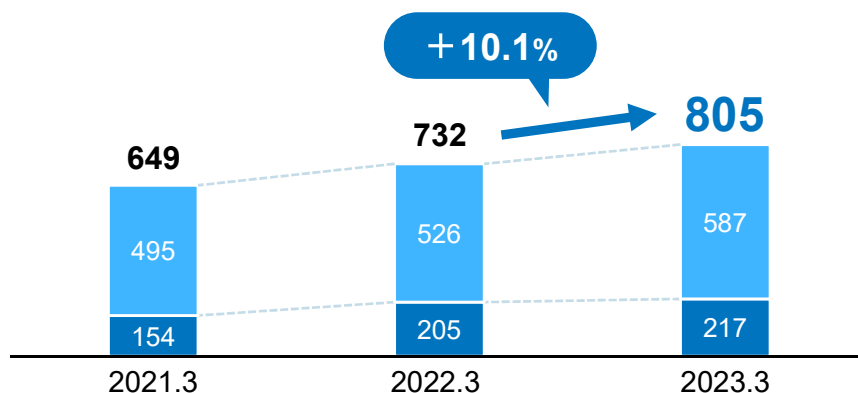
国内、海外ともに前期比で増加

(億円)	2022年3月期実績	2023年3月期実績	前期比増減	2023年3月期予想※	予想比差異
塗装システム事業 受注工事高	732	805	73	780	25
うち国内	205	217	12	231	-13
うち海外	526	587	61	549	38
海外比率	72.0%	73.0%	1.0pt	70.4%	2.6pt

※ 第3四半期決算時に修正

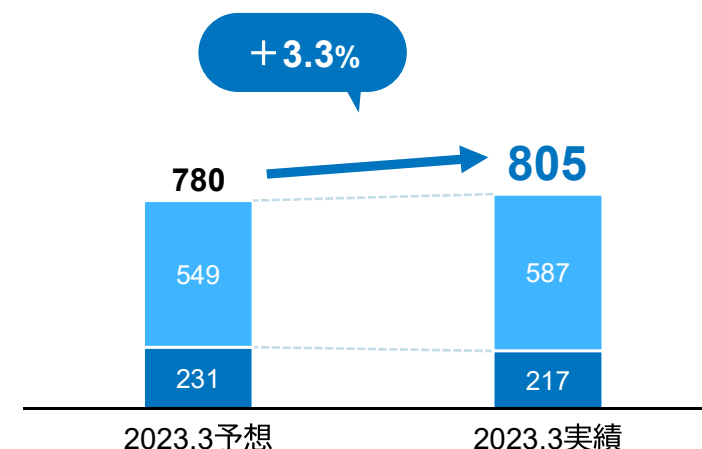
■ 受注工事高 推移

(億円) ■ 塗装(国内)
■ 塗装(海外)



■ 受注工事高 予想比

(億円) ■ 塗装(国内)
■ 塗装(海外)

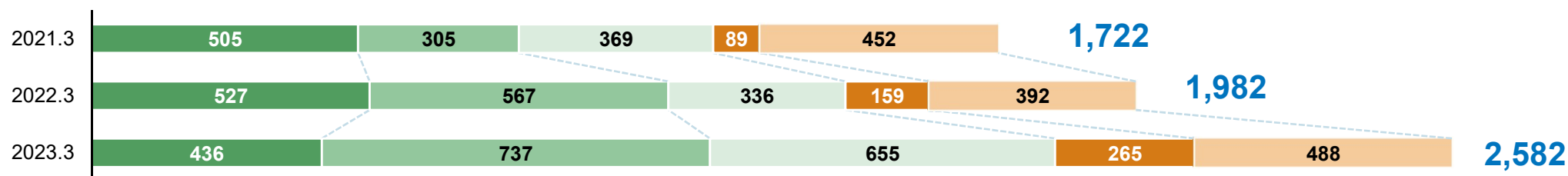


環境システム事業、塗装システム事業ともに前期比で大幅に増加

(億円)	2021年3月期実績 A	2022年3月期実績 B	2023年3月期実績 C	増減 B-A	増減 C-B
受注工事高	2,004	2,321	2,886	316	565
完成工事高	2,025	2,092	2,147	67	55
繰越工事高	1,722	1,982	2,582	260	600
環境システム事業	1,180	1,431	1,828	251	397
ビル空調	505	527	436	22	-91
産業空調	674	903	1,392	229	488
塗装システム事業	541	551	754	9	202

事業別繰越工事高の内訳

(億円) ■ ビル空調 ■ 産業空調(国内) ■ 産業空調(海外) ■ 塗装(国内) ■ 塗装(海外)



環境システム事業の増収増益により、塗装システム事業の減収減益をカバー

(億円)	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	前期比 増減	2023年3月期 予想※	予想比 差異
完成工事高合計	2,092	2,147	55	2,125	22
うち国内	1,077	1,342	265	1,320	22
うち海外	1,015	805	-209	805	0
環境システム事業	1,343	1,718	374	1,700	18
ビル空調	409	453	43	446	7
産業空調	934	1,264	330	1,254	10
塗装システム事業	748	429	-319	425	4
経常利益合計	108	130	21	120	10
経常利益率	5.2%	6.1%	0.9pt	5.6%	0.4pt
環境システム事業	93	145	52	130	15
経常利益率	6.9%	8.5%	1.6pt	7.6%	0.8pt
塗装システム事業	6	-16	-22	-10	-6
経常利益率	0.9%	-3.7%	-4.6pt	-2.4%	-1.4pt

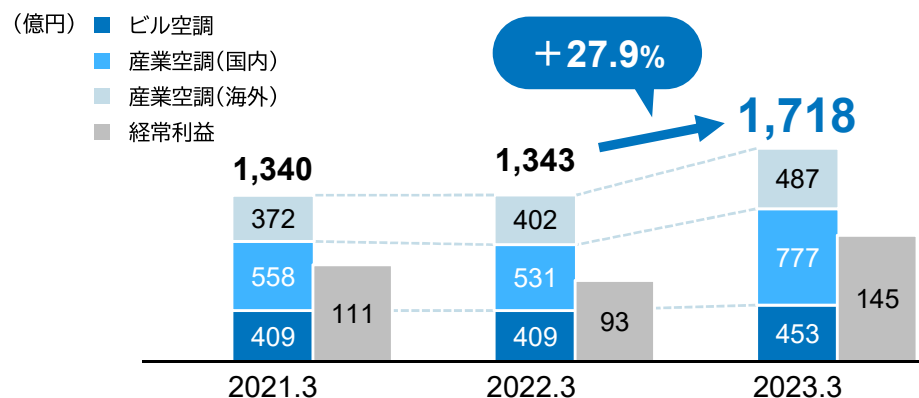
※ 第3四半期決算時に修正

産業空調分野がけん引し増収増益を達成

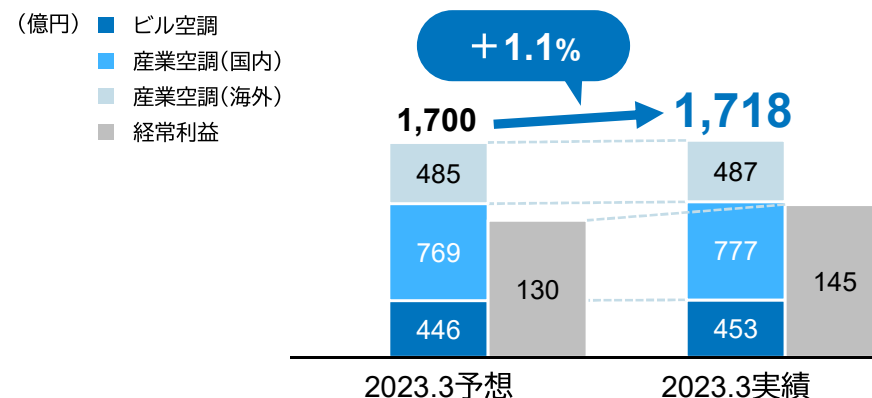
(億円)	2022年3月期実績	2023年3月期実績	前期比増減	2023年3月期予想※	予想比差異
環境システム事業 完成工事高	1,343	1,718	374	1,700	18
ビル空調	409	453	43	446	7
産業空調	934	1,264	330	1,254	10
うち国内	531	777	245	769	8
うち海外	402	487	85	485	2
海外比率	30.0%	28.4%	-1.6pt	28.5%	-0.2pt
環境システム事業 経常利益	93	145	52	130	15
経常利益率	6.9%	8.5%	1.6pt	7.6%	0.8pt

※ 第3四半期決算時に修正

完成工事高・経常利益 推移



完成工事高・経常利益 予想比

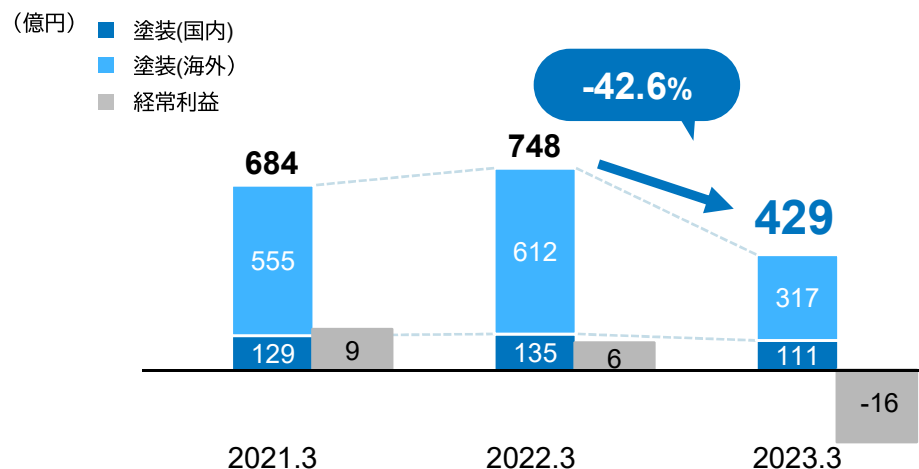


客先の生産計画変更などによる影響で大幅な減収、 それに伴い、経常損失を計上

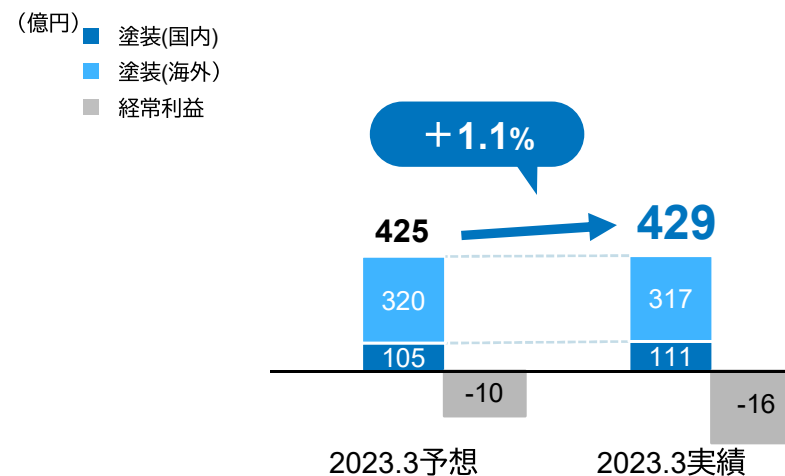
(億円)	2022年3月期実績	2023年3月期実績	前期比増減	2023年3月期予想※	予想比差異
塗装システム事業 完成工事高	748	429	-319	425	4
うち国内	135	111	-24	105	6
うち海外	612	317	-295	320	-2
海外比率	81.9%	74.0%	-7.8pt	75.3%	-1.3pt
塗装システム事業 経常利益	6	-16	-22	-10	-6
経常利益率	0.9%	-3.7%	-4.6pt	-2.4%	-1.4pt

※ 第3四半期決算時に修正

完成工事高・経常利益 推移



完成工事高・経常利益 予想比



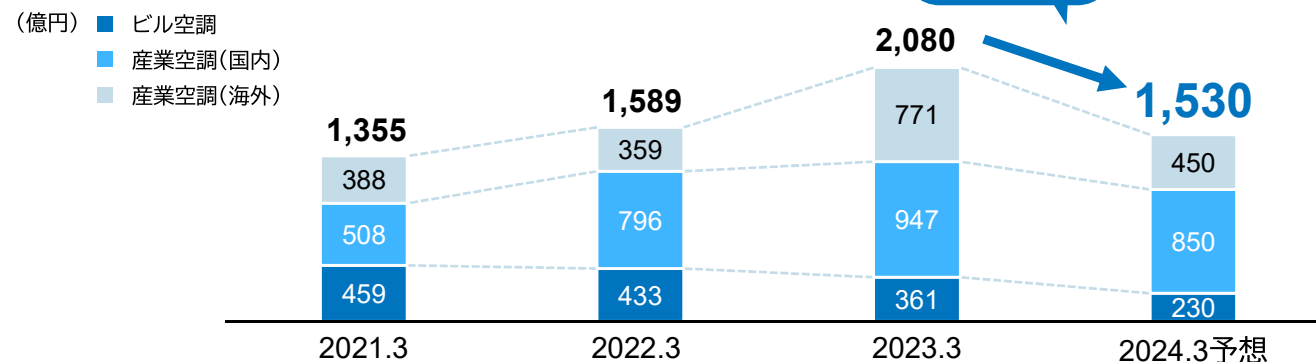
環境システム事業、塗装システム事業ともに減少を見込む

(億円)	2023年3月期 実績			2024年3月期 予想			前期比増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
受注工事高合計	1,620	1,266	2,886	1,023	1,157	2,180	-597	-109	-706
うち国内	1,050	476	1,527	620	620	1,240	-430	143	-287
うち海外	569	789	1,359	403	537	940	-166	-252	-419
環境システム事業	1,266	814	2,080	730	800	1,530	-536	-14	-550
ビル空調	195	166	361	135	95	230	-60	-71	-131
産業空調	1,070	648	1,718	595	705	1,300	-475	56	-418
塗装システム事業	354	451	805	293	357	650	-61	-94	-155

市場環境は良好なものの、手持ち工事量の大幅増加に伴う受注量調整により、 全ての分野で減少を見込む

(億円)	2023年3月期 実績			2024年3月期 予想			前期比増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
環境システム事業 受注工事高	1,266	814	2,080	730	800	1,530	-536	-14	-550
ビル空調	195	166	361	135	95	230	-60	-71	-131
産業空調	1,070	648	1,718	595	705	1,300	-475	56	-418
うち国内	693	254	947	375	475	850	-318	220	-97
うち海外	377	394	771	220	230	450	-157	-164	-321
海外比率	29.8%	48.4%	37.1%	30.1%	28.8%	29.4%	0.3pt	-19.7pt	-7.7pt

■ 受注工事高 推移

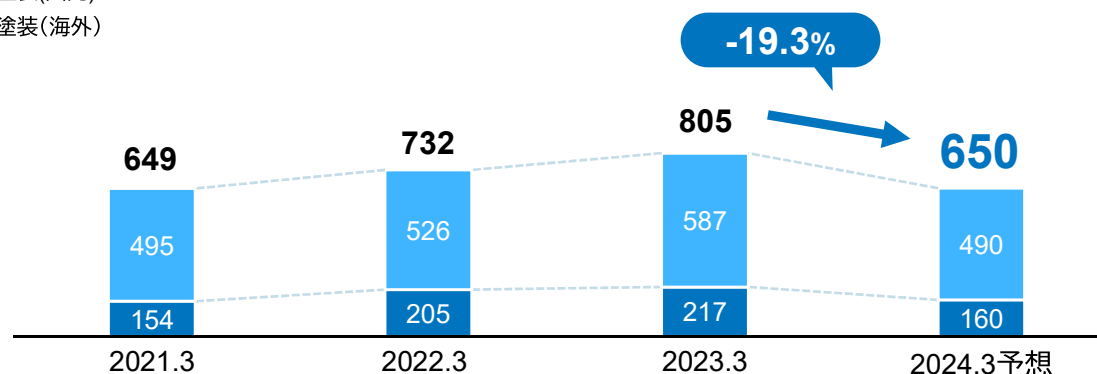


市場環境は良好なものの、手持ち工事量の大幅な増加に伴う受注量の調整により、
国内、海外ともに減少を見込む

(億円)	2023年3月期 実績			2024年3月期 予想			前期比増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
塗装システム事業 受注工事高	354	451	805	293	357	650	-61	-94	-155
うち国内	161	56	217	110	50	160	-51	-6	-57
うち海外	192	395	587	183	307	490	-9	-88	-97
海外比率	54.4%	87.6%	73.0%	62.5%	86.0%	75.4%	8.1pt	-1.6pt	2.4pt

■ 受注工事高 推移

(億円) ■ 塗装(国内)
■ 塗装(海外)



環境システム事業は増収減益、塗装システム事業は増収増益を見込む

(億円)	2023年3月期 実績			2024年3月期 予想			前期比増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
完成工事高合計	857	1,290	2,147	1,271	1,279	2,550	413	-11	402
うち国内	539	802	1,342	783	573	1,356	243	-229	13
うち海外	318	487	805	488	706	1,194	169	218	388
環境システム事業	675	1,042	1,718	1,030	895	1,925	354	-147	206
ビル空調	175	278	453	210	120	330	34	-158	-123
産業空調	500	764	1,264	820	775	1,595	319	10	330
塗装システム事業	182	247	429	241	384	625	58	136	195
経常利益合計	46	83	130	63	77	140	16	-6	9
経常利益率	5.4%	6.5%	6.1%	5.0%	6.0%	5.5%	-0.5pt	-0.4pt	-0.6pt
環境システム事業	53	92	145	67	65	132	13	-27	-13
経常利益率	7.9%	8.9%	8.5%	6.5%	7.3%	6.9%	-1.4pt	-1.6pt	-1.6pt
塗装システム事業	-10	-5	-16	-5	14	9	5	19	25
経常利益率	-5.7%	-2.3%	-3.7%	-2.1%	3.6%	1.4%	3.6pt	5.9pt	5.2pt

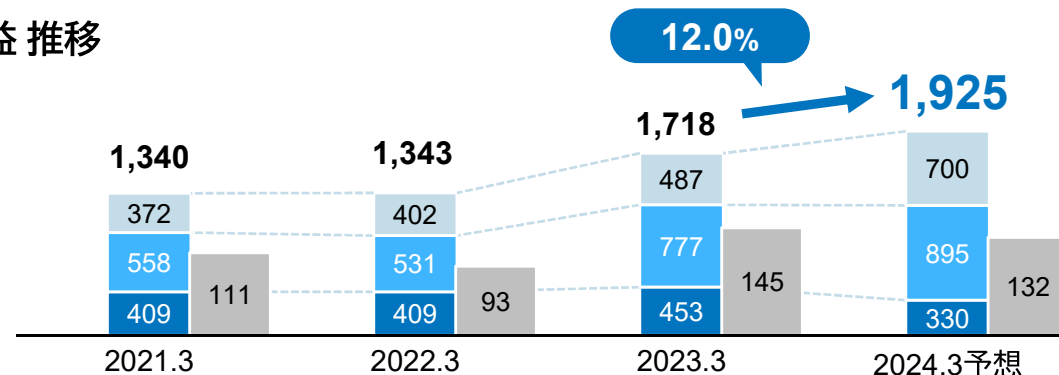
産業空調分野がけん引し増収となるものの、
戦略的に受注した採算性の低い物件の比率が高まり、減益の見通し

(億円)	2023年3月期 実績			2024年3月期 予想			前期比増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
環境システム事業 完成工事高	675	1,042	1,718	1,030	895	1,925	354	-147	206
ビル空調	175	278	453	210	120	330	34	-158	-123
産業空調	500	764	1,264	820	775	1,595	319	10	330
うち国内	309	467	777	530	365	895	220	-102	117
うち海外	190	297	487	290	410	700	99	112	212
海外比率	28.2%	28.5%	28.4%	28.2%	45.8%	36.4%	0.0pt	17.3pt	8.0pt
環境システム事業 経常利益	53	92	145	67	65	132	13	-27	-13
経常利益率	7.9%	8.9%	8.5%	6.5%	7.3%	6.9%	-1.4pt	-1.6pt	-1.6pt

完成工事高・経常利益 推移

(億円)

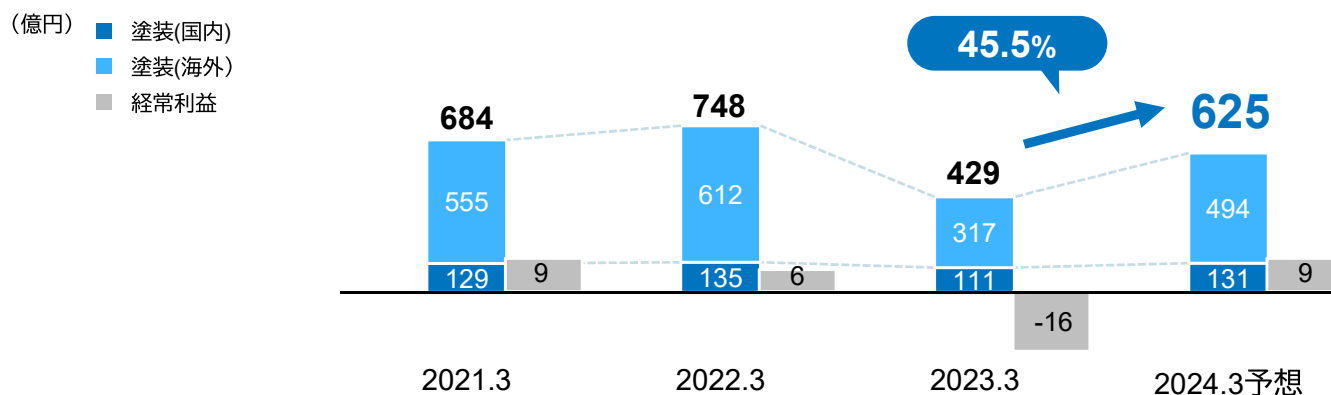
- ビル空調
- 産業空調(国内)
- 産業空調(海外)
- 経常利益



海外がけん引し増収、経常利益への黒字転換を見込む

(億円)	2023年3月期 実績			2024年3月期 予想			前期比増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
塗装システム事業 完成工事高	182	247	429	241	384	625	58	136	195
うち国内	54	57	111	43	88	131	-11	30	19
うち海外	128	189	317	198	296	494	69	106	176
海外比率	70.2%	76.8%	74.0%	82.2%	77.1%	79.0%	11.9pt	0.3pt	5.0pt
塗装システム事業 経常利益	-10	-5	-16	-5	14	9	5	19	25
経常利益率	-5.7%	-2.3%	-3.7%	-2.1%	3.6%	1.4%	3.6pt	5.9pt	5.2pt

完成工事高・経常利益 推移

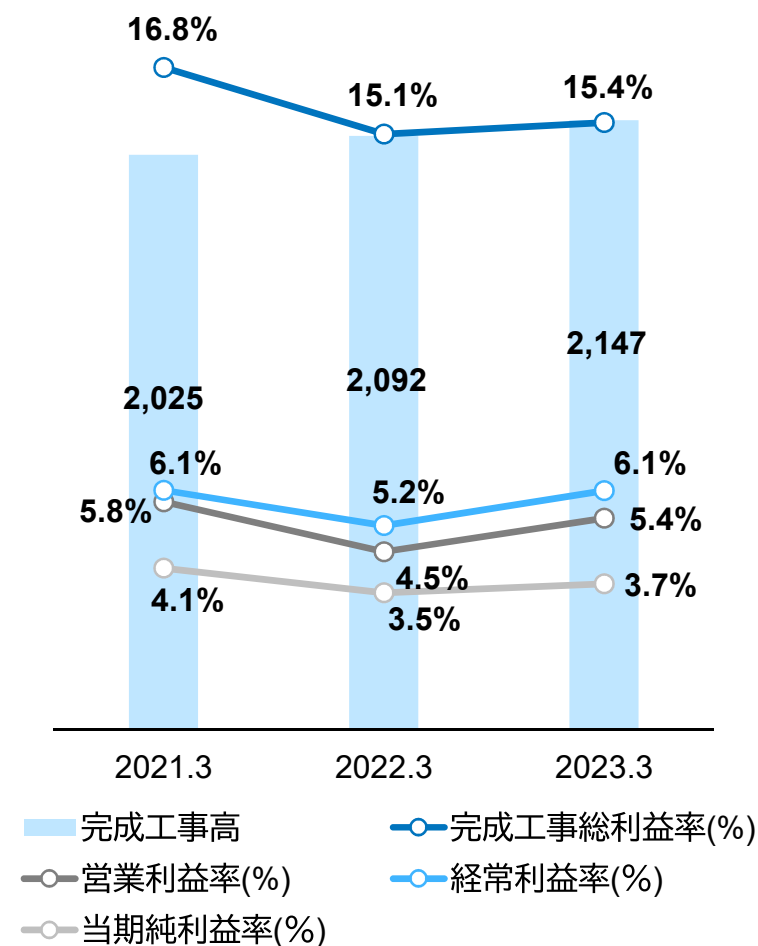


目次

INDEX

1. 連結業績の概要	P.03
2. セグメント別業績の概要	P.09
3. 連結財務諸表	管理本部長:中島 靖 P.23
4. 中期経営計画の進捗 (2022年度～2024年度)	P.27
5. 株主還元	P.39
6. Appendix	P.42

(億円)	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
完成工事高	2,025	2,092	2,147
完成工事総利益	340	316	330
完成工事総利益率	16.8%	15.1%	15.4%
営業利益	116	94	115
営業利益率	5.8%	4.5%	5.4%
経常利益	122	108	130
経常利益率	6.1%	5.2%	6.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	82	72	79
当期純利益率	4.1%	3.5%	3.7%
ROE	7.2%	5.9%	6.3%



(億円)

科目	2022年 3月期	2023年 3月期	増減
流動資産	1,681	1,844	162
現金預金	490	469	-20
受取手形・完成工事未収入金等	1,049	1,242	192
有価証券	30	-	-30
未成工事支出金及び材料貯蔵品	27	31	4
その他	90	107	16
貸倒引当金	-7	-6	0
固定資産	599	526	-73
有形固定資産	112	85	-26
のれん	39	36	-3
その他無形固定資産	34	22	-11
投資有価証券	296	264	-31
繰延税金資産	5	5	0
その他	116	115	-0
貸倒引当金	-4	-5	-1
資産合計	2,281	2,371	89

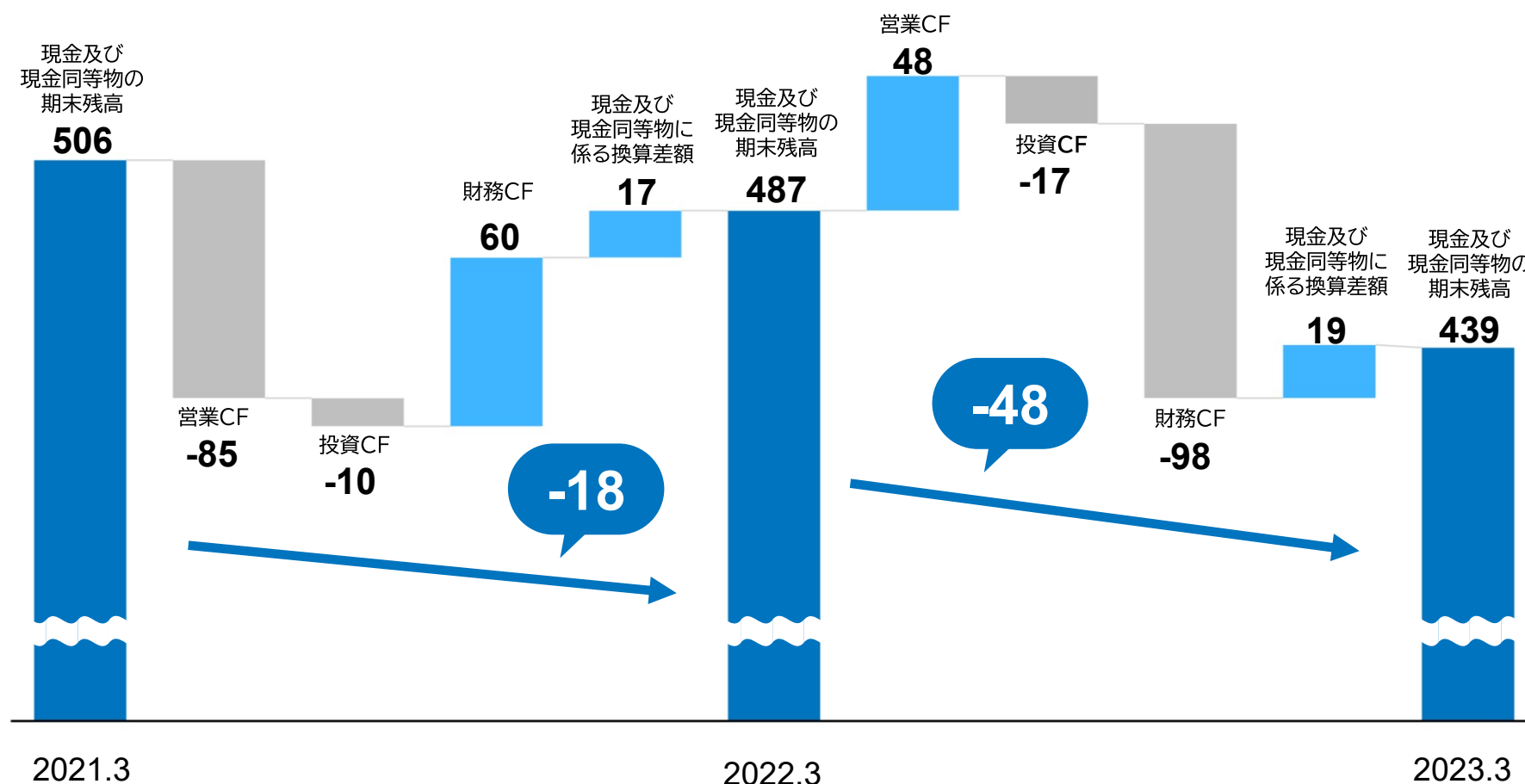
科目	2022年 3月期	2023年 3月期	増減
流動負債	818	959	140
支払手形・工事未払金等	471	554	83
未成工事受入金	69	233	164
工事損失引当金	3	3	-0
その他	274	168	-106
固定負債	154	91	-63
負債合計	973	1,051	77
純資産	1,307	1,319	12
資本金	64	64	-
資本剰余金	50	35	-15
利益剰余金	998	1,002	4
自己株式	-25	-11	13
その他有価証券評価差額金	119	105	-13
繰延ヘッジ損益	-0	-0	-0
為替換算調整勘定	20	47	27
退職給付に係る調整累計額	19	14	-5
非支配株主持分	60	62	1
負債純資産合計	2,281	2,371	89

営業CF: 当期純利益の増加によりプラス

財務CF: 配当金の支払い、自己株式の取得、インドの連結子会社 Nicomac Taikisha Clean Roomsへの追加出資によりマイナス

現金及び現金同等物の期末残高推移

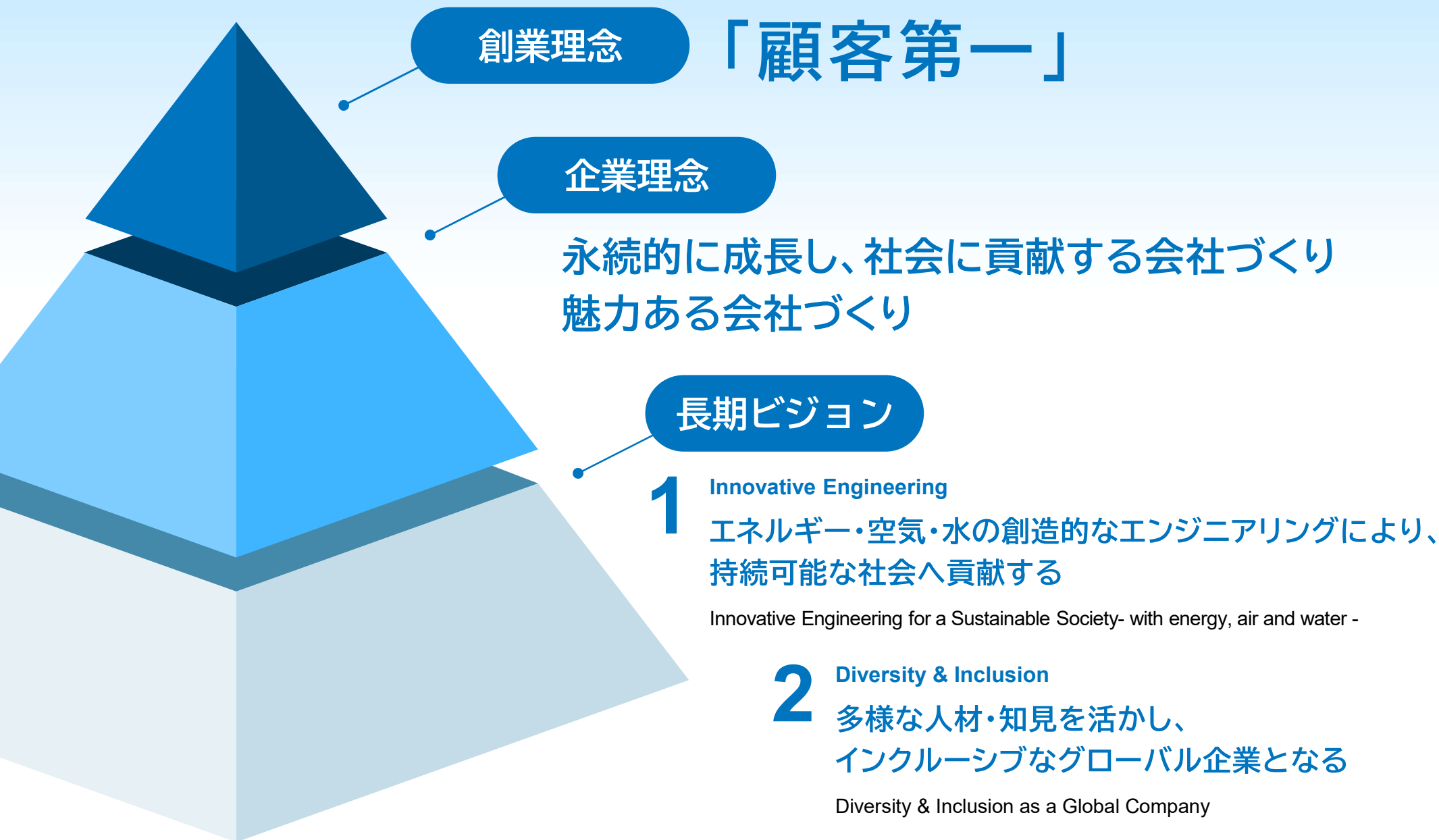
(億円)



目次

INDEX

1. 連結業績の概要	P.03
2. セグメント別業績の概要	P.09
3. 連結財務諸表	P.23
4. 中期経営計画の進捗 (2022年度～2024年度)	経営企画本部長：中川 正徳 P.27
5. 株主還元	P.39
6. Appendix	P.42



2024年3月期の完成工事高、利益は中期経営計画の目標を上回る予定

	中期経営計画期間				5年後の目指す姿
(億円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	2024年3月期 目標	2025年3月期 目標	2027年3月期 目標
受注工事高	2,886	2,180	2,230	2,360	2,700
完成工事高	2,147	2,550	2,235	2,380	2,650
経常利益	130	140	135	150	165
親会社株主に帰属する当期純利益	79	93	91	96	
ROE	6.3%	7.3%	7.0%	7.2%	
DOE	3.2%	3.2%を目指し、安定的な配当を実施			
自己株式取得	30	年間20億円を目途に実施			
政策保有株式の保有額対純資産比	21.8%	2024年3月期までに、20%未満に削減			

※「目標」は2022年5月16日開示の中期経営計画の数値目標

中期経営計画で掲げた非財務目標に加えて、 2023年4月25日にTCFD提言に基づく気候関連情報の開示を行った

非財務目標

事業活動に伴うCO₂排出量(スコープ1・2) ⇒ 2030年までに46%削減(2015年度実績比)

TCFD提言に基づく気候関連情報の開示

 TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

ガバナンス

業務執行取締役の報酬体系について非財務指標を一定割合導入し、気候変動に対する活動の強化を後押しする方向で見直し

戦略／リスク管理

- 2035年において当社への影響度が高いリスクと機会を洗い出し
- リスクマネジメント委員会を設置し、気候変動を含む重大なリスクの低減と顕在化するリスクの最小化に努める

重要なリスク・機会	想定される対応策
炭素税	- GHG削減目標の設定 - 低炭素技術・システム開発 - 再生可能エネルギー業界への参入
顧客行動の変化 省エネ・再エネ技術の普及	- エネルギー循環システムの構築 - 塗装技術の改善・習得・商品開発推進 - CO₂回収・循環技術等の開発
平均気温の上昇	- 植物工場事業の多角展開 - 施工における機械化・自動化の推進 - 労働環境の整備・熱中症対策の推進

指標と目標

CO₂排出量について事業ごとに2050年・2030年の目標を設定

	環境システム事業	塗装システム事業
2050年削減目標	CO ₂ 排出量80%削減※ (2013年度比)	将来のエネルギー変革を加味した技術で、自動車1台あたりCO ₂ 排出量を実質ゼロ化
2030年マイルストーン	CO ₂ 排出量25%削減※ (2013年度比)	現状の塗装工程の熱源構成のまま、自動車のCO ₂ 排出量を60kg-CO ₂ /台まで削減
2022年度取り組み(実績)	建築物のライフサイクルを通じて、使用エネルギーを抑制するシステムを提案し、優れた「低炭素化」「環境負荷低減」技術を提供	塗装ラインのエネルギー試算モデルを活用し、設備の高効率化・小型化を図り、再生可能エネルギーや低温排熱改修システム等を導入

※ 当社の設計施工による設備の運用段階における削減目標

2023年3月期は、合計39億円実施

	2023年3月期主な実施内容	2023年3月期 実績	2024年3月期 計画	2025年3月期 計画
事業関連投資	インドの連結子会社 Nicomac Taikisha Clean Rooms Private Limitedへの出資比率引き上げ	25億円		
設備・人材投資	- BIMを始めとする現場DX運用検証費用(構築中) - グローバルな基幹業務システムの構築費用(構築中)	6億円		160億円
技術開発投資	- 本社にR&Dサテライト設置 - 塗装システム事業のカーボンニュートラル向け研究開発投資(開発中)	7億円		

中期経営計画期間 3か年合計

200億円

基本方針		方向性	取組み
1	コア事業のさらなる強化 当社の強みである追求型の課題解決により継続的に付加価値を創出する	環境システム事業	付加価値を生み出し続ける事業展開
			技術の太気社を強化
			業務の仕組みの改善と生産性向上
		塗装システム事業	国内外での確固たる地位の確立
			グローバルな社会課題を意識した開発
			業務の仕組みの改善と生産性向上
2	新たな価値創出への挑戦 自社の技術と外部知見との融合によりイノベーションを生み出し、事業領域を拡大する	知的財産戦略の立案・推進	
		顧客視点の開発	
		オープンイノベーション	
		強みとなる技術の水平展開	
3	変革・成長を支える経営基盤の強化 事業構造の転換に向け、人的資本・デジタル戦略・ガバナンスに重点を置いて取り組む	新規事業の開拓	
		人的資本の育成・確保	
		新たな価値提供に向けたデジタル戦略	
		グループガバナンス体制強化	

インドの連結子会社 Nicomac Taikisha Clean Roomsへの出資比率引き上げ

当社は、インドの連結子会社Nicomac Taikisha Clean Rooms Private Limited(2020年7月にパネル製造据付技術と空調設備技術の融合のため子会社化)への出資比率を74%から100%へ引き上げました。

同社は、インドの製薬メーカーを主要顧客とし、クリーンパネル等の製造から施工(据付)まで一貫して行っていますが、近年はインド国内への販売に留まらず、周辺国や米国等へも輸出を行っています。

【出資比率引き上げの経緯】

インド経済は人口増加、都市化の発展、経済改革などを背景に、今後も底堅い成長が見込まれています。インドにおけるクリーンルーム市場は、現在は医薬品向けの工場が大半ですが、今後はインド政府の産業誘致・育成政策に基づく半導体・リチウムイオン電池などの製造施設向けの需要拡大も期待されます。従来、当社の環境システムの海外事業は、中国およびASEANの日系企業を主要顧客としていましたが、今回の出資比率引き上げを機に、同社が持つ大手製薬メーカーへの高いブランド力と、日本で豊富な医薬品向けの工場実績を持つ当社の知見を組み合わせ、インドにおいて、付加価値が高いクリーンルーム建設市場における事業拡大戦略をいっそう推進します。



クリーンパネルによる施工施設
(壁・天井・窓・ドア等)

IoT・AIを活用した自動車塗装ラインの監視・要因解析システム「i-Navistar」を開発 ～自動車塗装ラインを中心に導入 新たにEMS機能を追加へ～

【開発の背景と狙い】

自動車塗装ラインには多種多様な設備が導入され、生産現場においては、熟練技術者の知見をもとに長時間かけてそれらのデータ分析と検証が繰り返され、不具合が発生した際の原因の特定も、多くの場合人の手に依存している現状にあります。こうした生産性や品質上の課題解決のために、当社では、従来よりIoT・AIを活用し稼働停止および品質不良が発生した際の要因解析を行うシステム「i-Navistar」の開発に注力してきました。

【新たな機能】

自動車メーカー各社の脱炭素化への取り組みに貢献すべく、『無駄なエネルギーの見える化、シミュレーター機能を使った最適エネルギー管理』を目的とした塗装工場の「エネルギーマネジメントシステム(EMS)」機能の開発を進め、すでに多くの自動車メーカーから高い関心が寄せられています。

世界各地で、今後ますます脱炭素化への取り組みが加速していくに伴い、EMS機能へのニーズも高まっていくことが予想されています。



【「i-Navistar」の従来の機能】

①稼働解析システム:

設備の運転状態をセンサーにより常時監視、測定値の傾向から故障を予測。効率の良い保全作業を可能に。

②品質解析システム:

収集された稼働・品質データをもとに品質不良の要因を解析、要因特定までの時間を大幅に短縮。熟練技術者への依存度の軽減を実現。

基本方針	方向性	2023年3月期実績および進行中の主な取り組み	社会価値の創出				
			E		S		G
			緩和と適応 気候変動の への取組み	汚染防止と 環境負荷低減	人材確保と 人材育成	働きやすい 職場環境の 整備	実効性の高い コーポレート・ ガバナンス
コア事業のさらなる強化	環境システム事業	付加価値を生み出し続ける事業展開	○	○			
		技術の太気社を強化			—		
		業務の仕組みの改善と生産性向上			○	○	
	塗装システム事業	国内外での確固たる地位の確立		○			
		グローバルな社会課題を意識した開発	○	○			
		業務の仕組みの改善と生産性向上			○	○	

基本方針	方向性	2023年3月期実績および進行中の主な取り組み	社会価値の創出				
			E		S		G
			気候変動の緩和と適応への取り組み	汚染防止と環境負荷低減	人材確保と人材育成	働きやすい職場環境の整備	実効性の高いコーポレート・ガバナンス
新たな価値創出への挑戦	知的財産戦略の立案・推進	- 自社の知財・無形固定資産を活用した知的財産戦略を検討中。 - 知財業務の社内教育および知財に関する規程類の整備実施。 - 新規事業関連特許の出願・権利化を推進中。			—		
	顧客観点の開発	2023年4月に、アクセスの良いR&Dサテライト「TAIKISHA INNOVATION GATE Shinjuku」を本社に開設し、潜在的顧客ニーズの把握と、新たな価値を創造する製品開発を検討中。	○	○			
	オープンイノベーション	新研究開発センター計画(2024年5月完成予定)。	○	○			
	強みとなる技術の水平展開	グリーン機器事業 - 精密温調チャンバー※1の受注活動推進中。 ※1 半導体製造において装置まわりや、超精密加工や測定、検査を可能にする環境空間を構築する設備 - 排気処理装置のラインナップ拡充を実施中。	○	○			
		オートメーション事業 - オートメーション領域の拡大に向けた取り組みを実施中。 - 新規顧客獲得のための活動として、展示会を活用した活動を継続実施中。 - 高塗着効率技術の市場投入に向け、パフォーマンス向上のための各種検証実施中。	○	○			
		植物工場事業 自社工場にて実証実験継続中。市場開拓の戦略については継続検討中。	○	○			
	新規事業の開拓	大学、研究機関、民間企業と、市場調査に基づき、社会実装時のビジネスモデルを想定した新規事業に資する共同研究を実施中。	○	○			

基本方針	方向性	2023年3月期実績および進行中の主な取り組み	社会価値の創出				
			E 気候変動の緩和と適応への取組み	S 人材確保と人材育成	S 働きやすい職場環境の整備	G ガバナンス	G 実効性の高いコーポレート・
変革・成長を支える経営基盤の強化	人材資本の育成確保	・ 当社事業の推進に合致する意欲・能力の高い人材の獲得(新卒採用75名、中途採用27名)。 ・ 上位職者層を長期計画的に育成するための育成制度・顕彰制度の整備と運用開始。 ・ キャリアプラン制度のブラッシュアップ、人材データベース活用による効果的な適材適所の配置と業務付与を一部開始。 ・ 社内風土向上の一環として上司だけではなく、同僚や部下からの評価なども含めた360度フィードバック制度を一部開始。拡大検討中。 ・ 「健康経営優良法人(ホワイト500)」認定取得(総合順位301～350位)。 ・ 長時間労働対策として主に現場業務に従事する社員の実態把握と、課題および職場環境改善対策案を検討中。		○	○		
	新たな価値提供に向けたデジタル戦略	・ 設計・積算・施工管理などのプロジェクトにおける各工程の生産性向上のためのデジタル化・DX化を推進中。設備BIMの標準化と普及・推進に向けた「設備BIM研究連絡会」に参加し活動開始。 ・ グローバルなIT・DX体制構築検討中。そのうち、セキュリティに関わるIT管理体制の構築開始。 ・ デジタル人材の育成強化策を検討中。		○	○		
	グループガバナンス体制強化	・ 事業ごとの資本収益性を図る経営指標の導入を検討中。 ・ 事業ポートフォリオマネジメントを意識した管理を組織的に実施するための「事業投資ガイドライン」の運用開始。 ・ 関係会社の取締役会・監査機能の体制および責任範囲の整理を実施。業務プロセスをより明確にし、現地取締役会への報告等によるモニタリング強化を検討中。				○	

中期経営計画期間において100億円の政策保有株式売却、2年目までに、 政策保有株式(みなし保有株式を含む保有額)の保有額を対純資産比20%未満に削減

中期経営計画期間の計画値

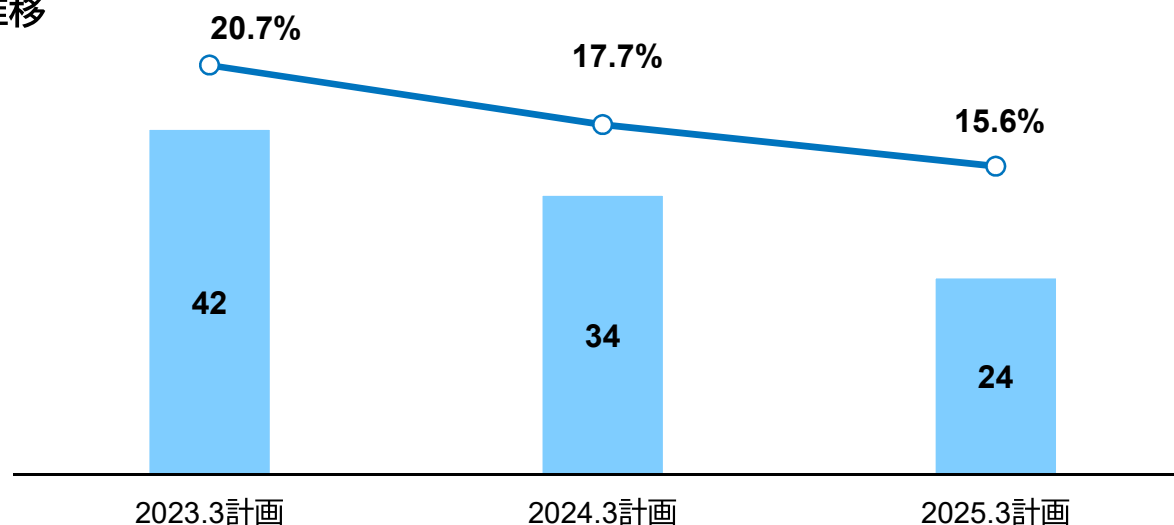
	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	合計
売却金額	42億円 ^{注1}	34億円	24億円	100億円
純資産比率	20.7% ^{注2}	17.7%	15.6%	

注1...2023年3月期実績は31億円

注2...2023年3月期実績は21.8%

政策保有株式 計画推移

(億円) ■ 売却金額
○ 純資産比率



目次

INDEX

1. 連結業績の概要	P.03
2. セグメント別業績の概要	P.09
3. 連結財務諸表	P.23
4. 中期経営計画の進捗 (2022年度～2024年度)	P.27
5. 株主還元	経営企画本部長: 中川 正徳 P.39
6. Appendix	P.42

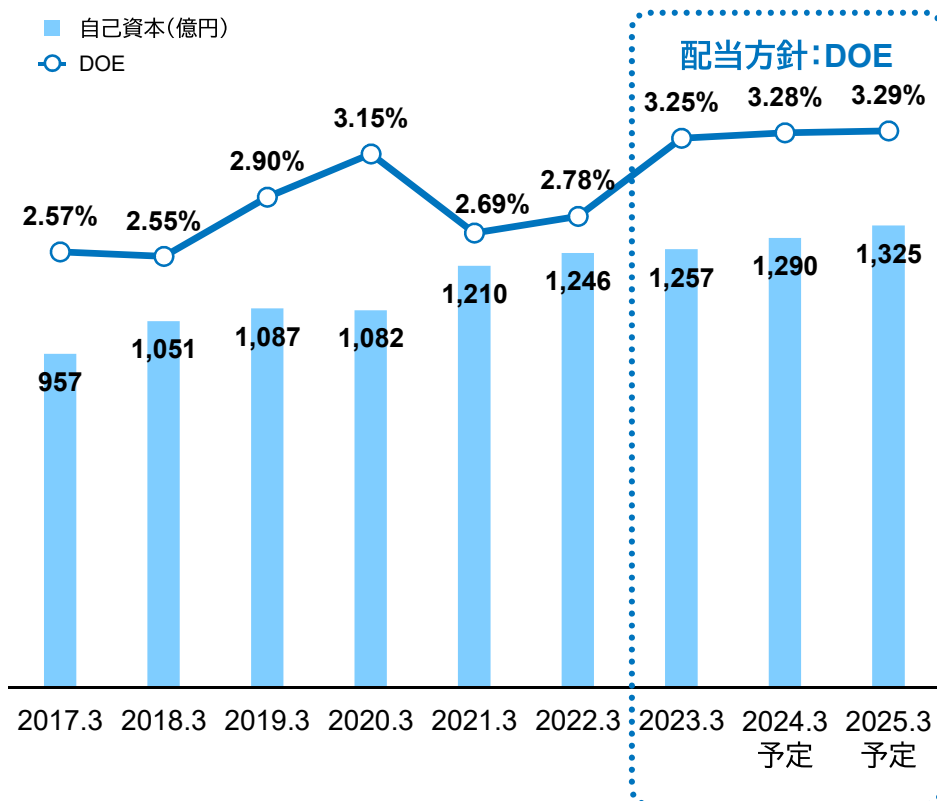
中期経営計画期間は予定通り増配を見込む

【配当方針】 連結自己資本配当率 (DOE) 3.2%を目指し、安定的な配当を実施

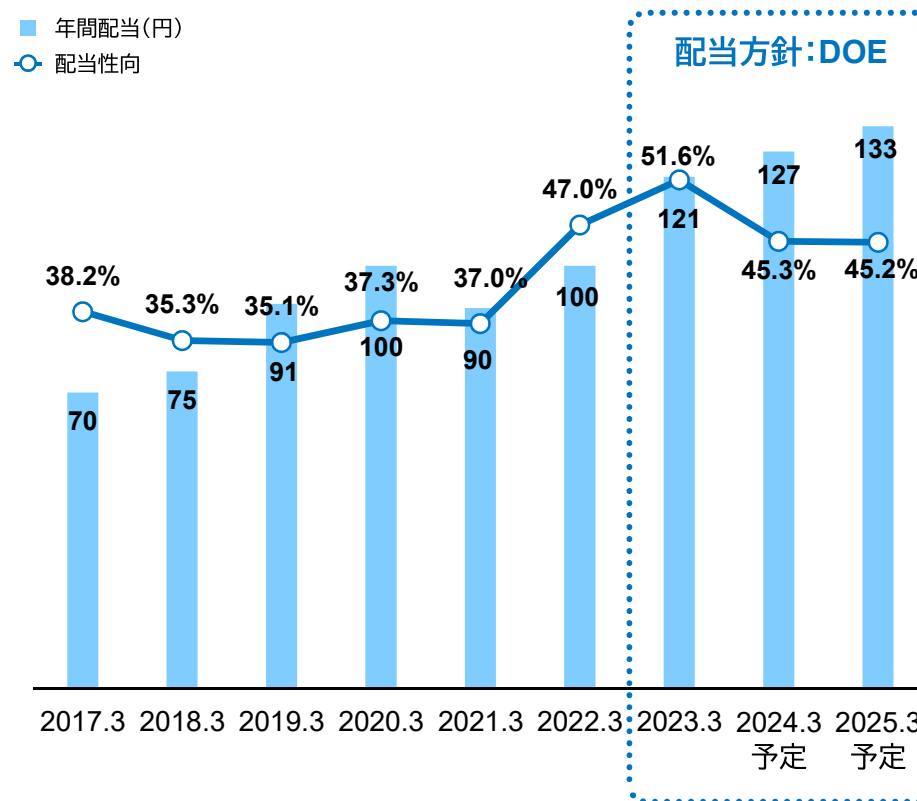
$$\text{DOE } 3.2\% = \text{目指すべきROE水準 } 8.0\% \times \text{配当性向 } 40\%$$

2024年3月期年間配当金は、127円に増配予定

自己資本・DOE 推移



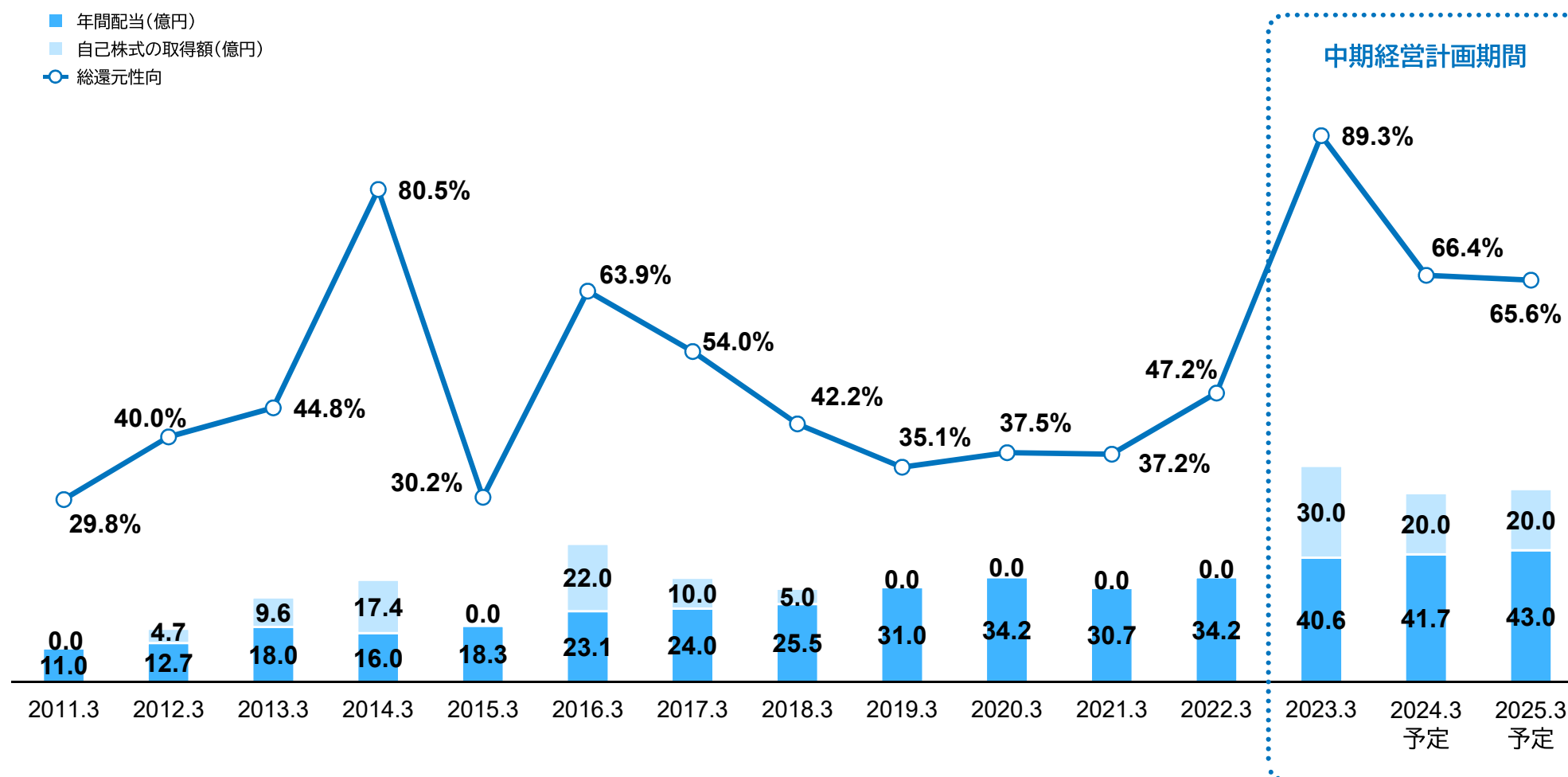
配当・配当性向 推移



配当と自己株式取得を合わせて、高い水準を維持

【自己株式取得の方針】 資本効率の向上と機動的な財務政策の実現を目的として、自己株式の取得を年間20億円を目途に実施予定(2023年3月期30億円実施済)

株主還元額・総還元性向 推移



※ 自己株式の取得額には、単元未満株式の買取りによる取得を含む

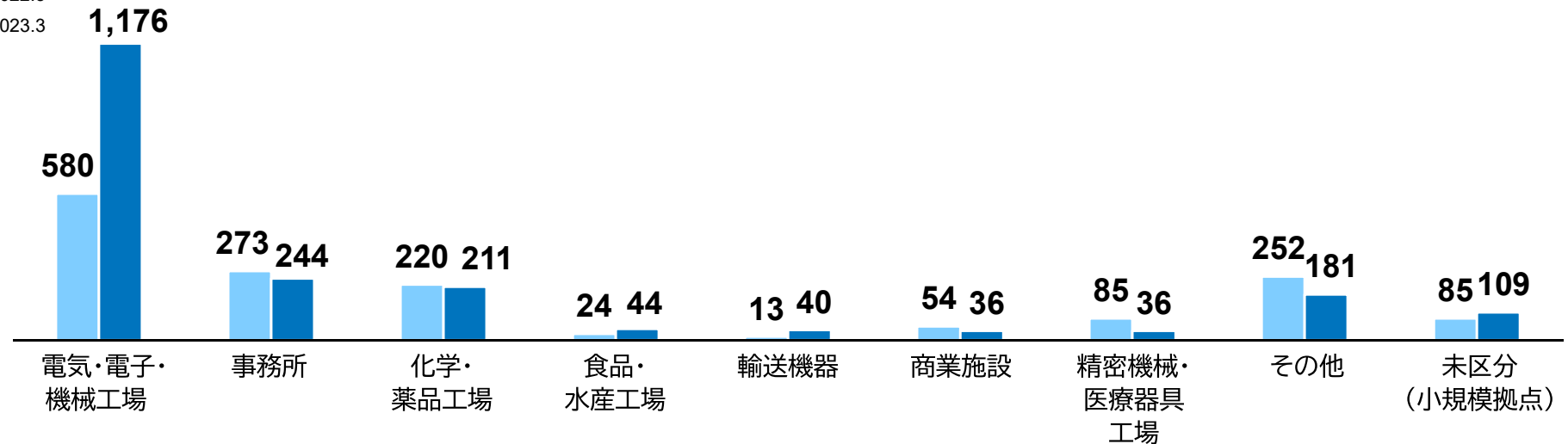
目次

INDEX

1. 連結業績の概要	P.03
2. セグメント別業績の概要	P.09
3. 連結財務諸表	P.23
4. 中期経営計画の進捗 (2022年度～2024年度)	P.27
5. 株主還元	P.39
6. Appendix	P.42

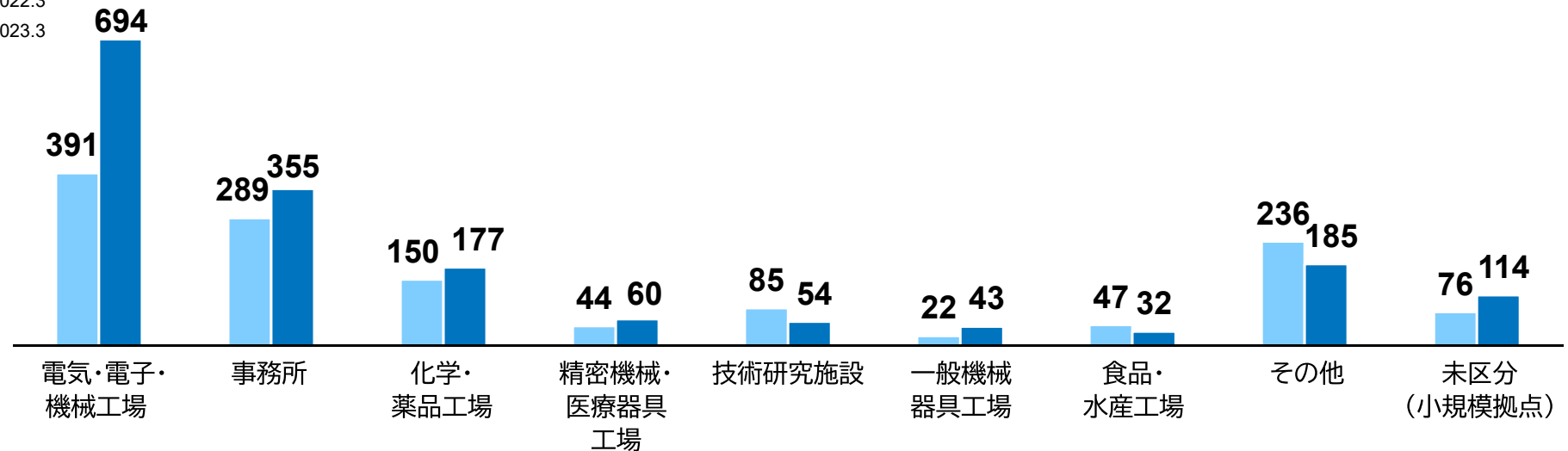
■ 受注工事高

(億円) ■ 2022.3
■ 2023.3



■ 完成工事高

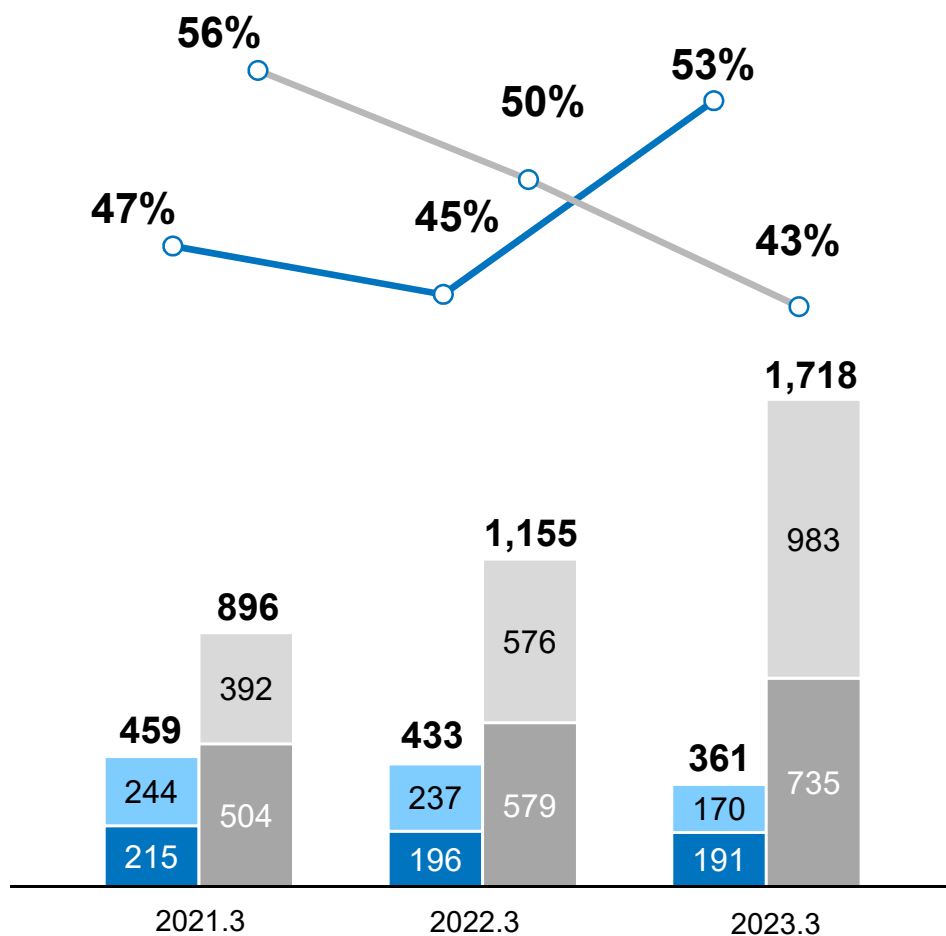
(億円) ■ 2022.3
■ 2023.3



■ 受注工事高

(億円)

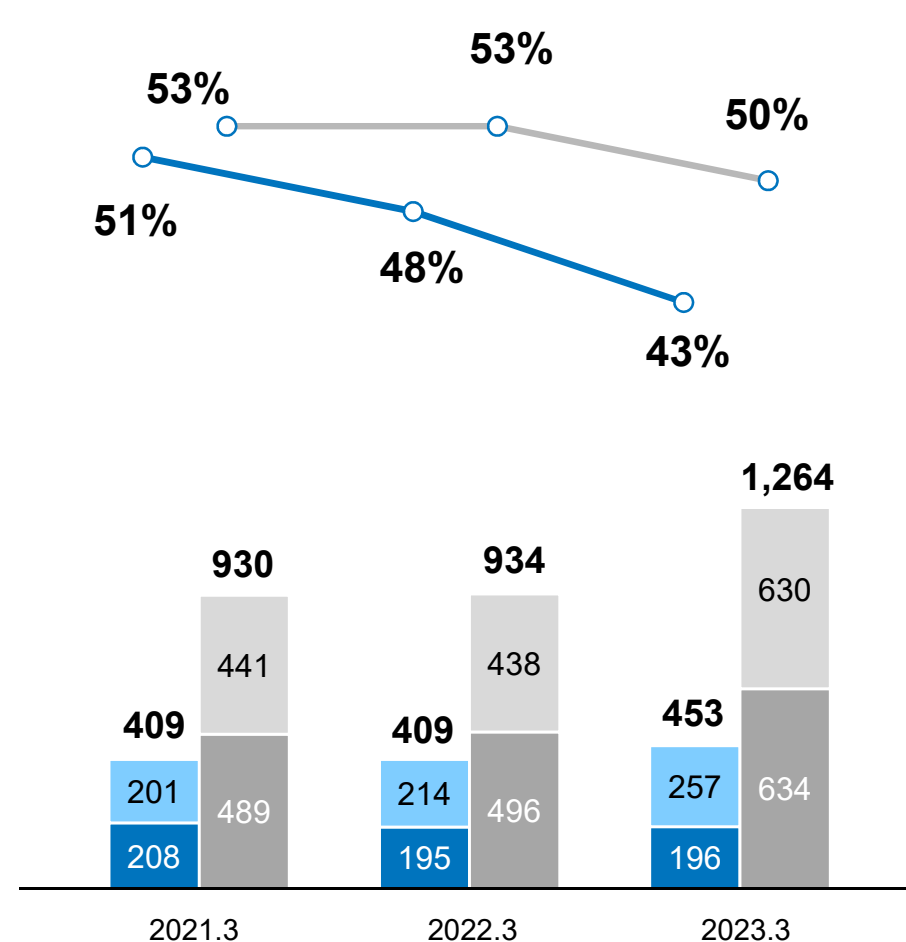
- ビル空調(リニューアル)
- ビル空調(新築)
- ビル空調リニューアル比率
- 産業空調(リニューアル)
- 産業空調(新築)
- 産業空調リニューアル比率



■ 完成工事高

(億円)

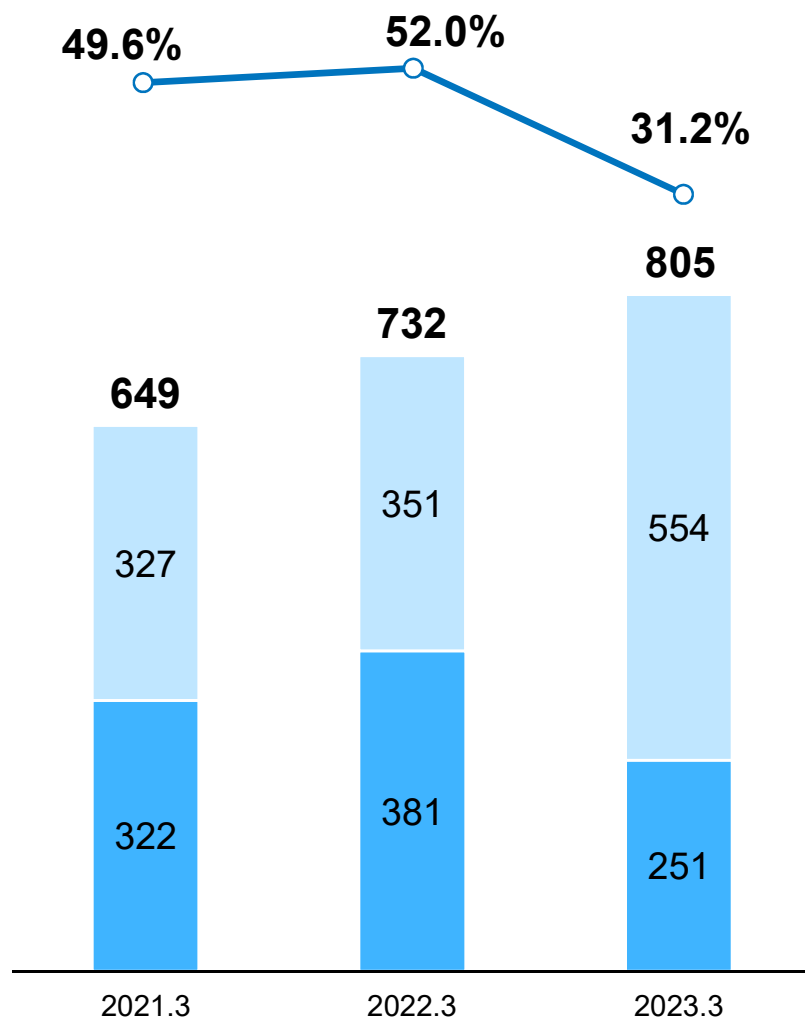
- ビル空調(リニューアル)
- ビル空調(新築)
- ビル空調リニューアル比率
- 産業空調(リニューアル)
- 産業空調(新築)
- 産業空調リニューアル比率



■ 受注工事高

(億円)

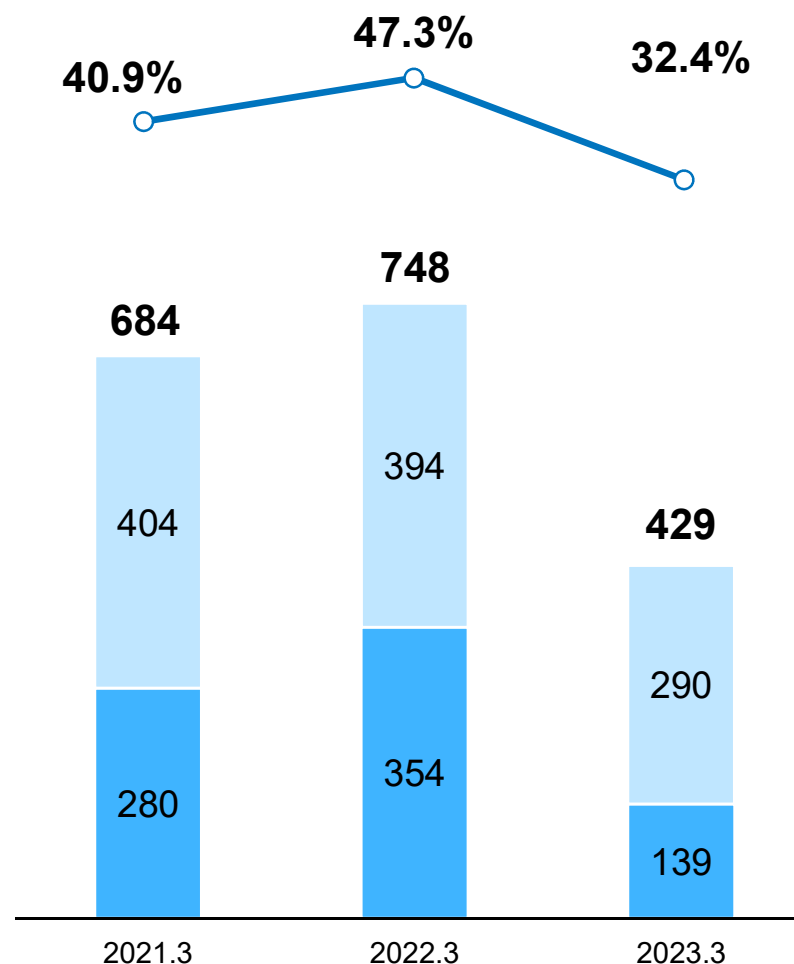
- 日系
- 非日系
- 非日系比率



■ 完成工事高

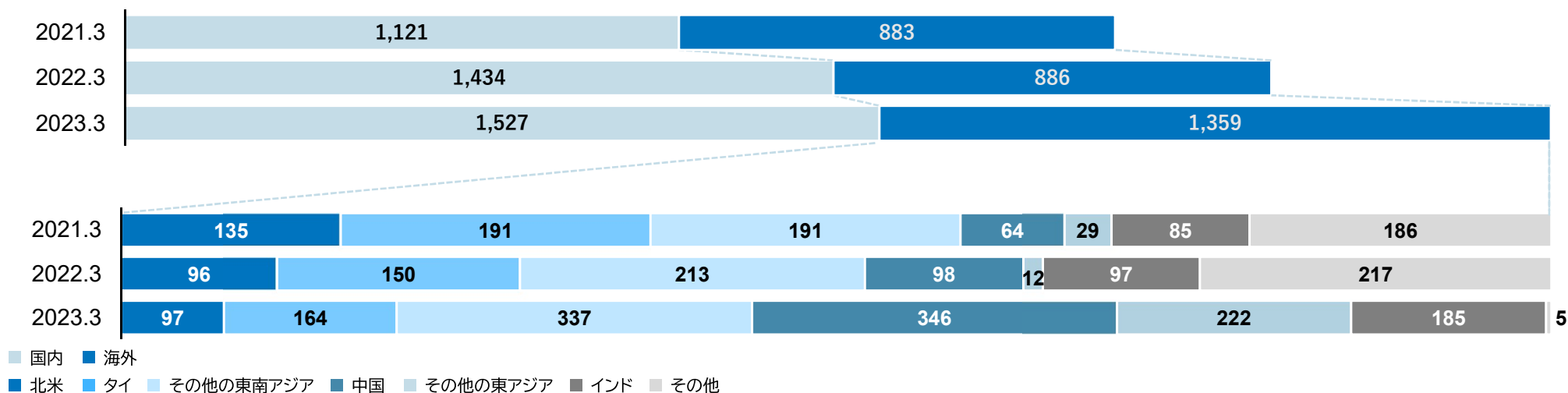
(億円)

- 日系
- 非日系
- 非日系比率

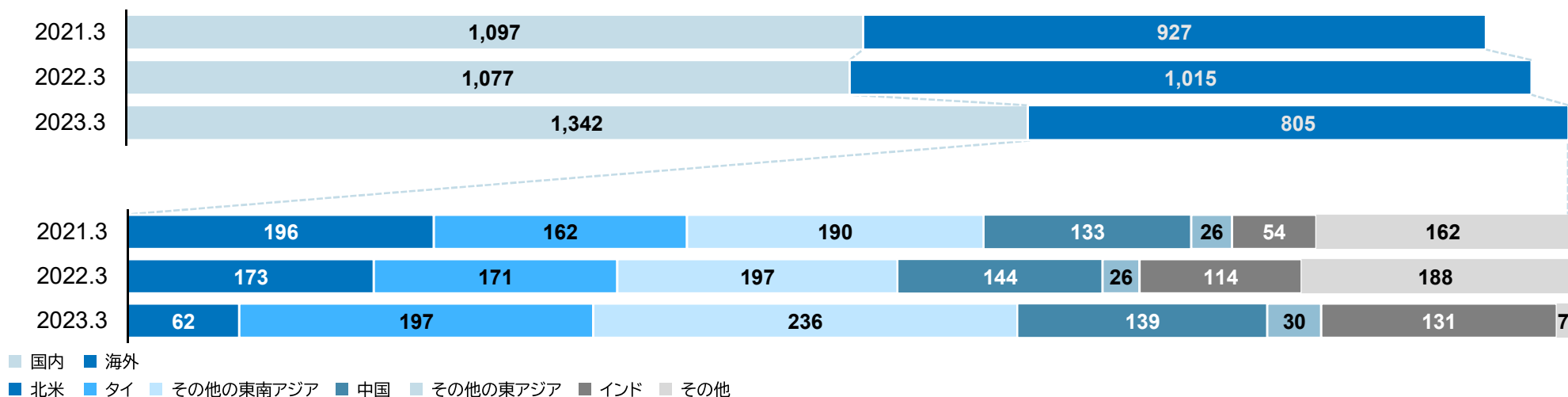


※ 日系メーカーの集計値には、海外日系合併会社(日系メーカー出資会社の全てを含む)の受注・完工を含む

受注工事高



完成工事高

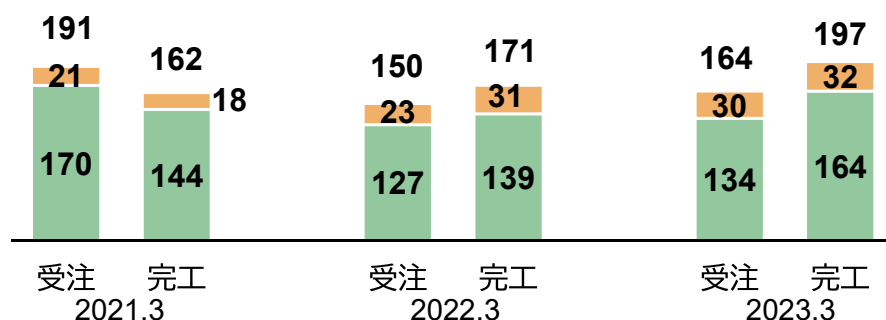


※当セグメントデータは、外部顧客への受注・完成工事高のみの数値

※主な国または地域 ・東南アジア:シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、他 ・東アジア:台湾、韓国 ・北米:アメリカ、カナダ、メキシコ ・その他地域:ロシア、南米、他

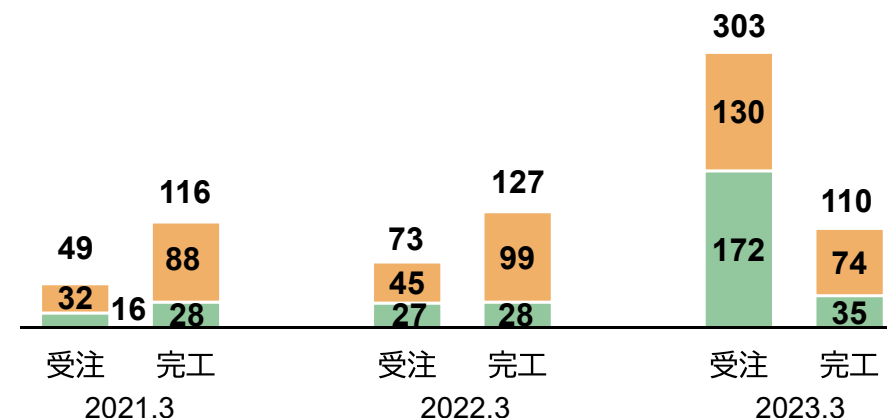
(億円) ■ 産業空調 ■ 塗装システム

Taikisha (Thailand) Co., Ltd. (タイ)グループ

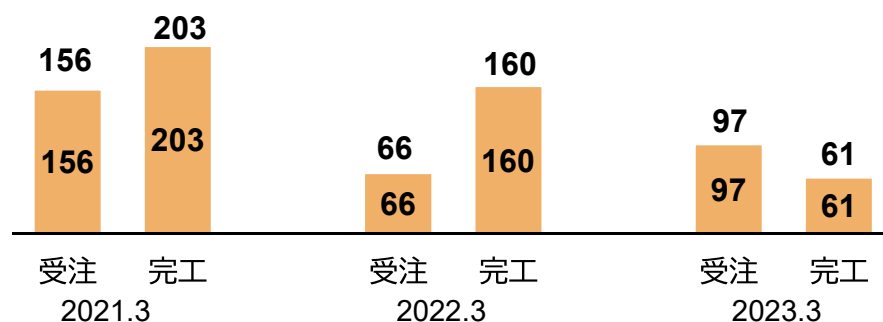


Wu-Zhou Taikisha Engineering Co., Ltd. (中国)

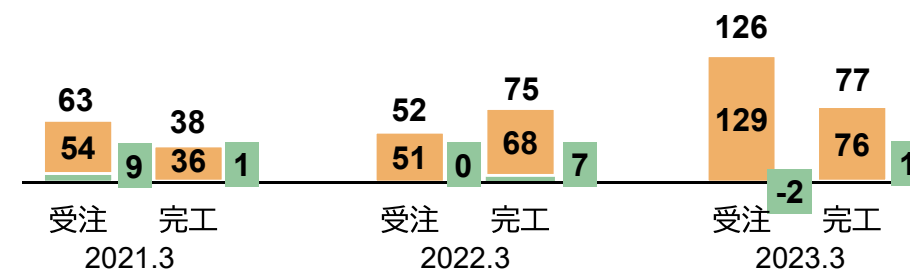
※ 2021年3月期は北京五洲大気社設備有限公司を含む



TKS Industrial Company(米国)グループ



Taikisha Engineering India Private Ltd. (インド)



※ 大気社とグループ会社間の内部取引額を除いた金額

将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社大気社 経営企画本部 経営企画部 IR課

TEL:03-5338-5052 FAX:03-5338-5195